

2026年度日系社会研修 コース概要

No	11
所管センター	横浜
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名	高齢化対策・生活習慣病予防
受入人数	3
受入時期	上半期
来日	2026年5月13日（水）
帰国日	2026年8月1日（土）
提案団体	順天堂大学
提案団体ウェブサイトアドレス	https://med.juntendo.ac.jp/research/course/list/globalhealthresearch.html
研修員必要資格	必要資格；保健医療福祉分野に関心のある研究者、実践家や、行政関係者
研修員に必要な実務経験年数	実務経験3年以上
研修使用言語	英語、日本語
日本語能力 （JLPT目安）	不問
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	高齢化対策・生活習慣病予防に関する公衆衛生学的課題の科学的な把握方法を学び、社会的ニーズに基づく適切な対策が立案できるようになる。
期待される成果 （習得する技術）	①日本やアジア地域各国の高齢化対策の現状と課題を把握する ②基礎的疫学・統計手法（データの集め方、研究デザインの立案、基本統計量、差の検定、分散分析、多重線形回帰分析、マルチレベル分析、共分散構造分析SEM、など） ③公衆衛生学に基づく政策手法（PRECEDE-PROCEEDモデル、ヘルスプロモーション、ハイレスク・アプローチ、ポピュレーション・アプローチなど）
研修計画（内容）	1. 講義；①基礎統計の解説、②医学部公衆衛生講義の聴講（日本語能力上可能なら） 2. 実習；①大学院レベルのゼミ、②抄読会、③月例勉強会への参加 3. 演習；①実地調査への参加、②データ入力、③データ解析（SPSS、SAS、Stata） 4. 視察；大学病院、東京都杉並区、静岡県伊豆の国市、など保健医療福祉施設 5. 発表；学内研究発表会、学会での発表（予定）
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	日本の高齢化対策のみならず、順天堂大学と国際学術交流関係にあるタイ・シンガポール、韓国などアジア地域各国の高齢化対策の現状と課題についても研修する。大学病院以外に、研究協力関係にある東京都杉並区の医療施設、静岡県伊豆の国市などで日本の高齢者と向き合い現場で学ぶ。 日本での経験がそのまま社会経済状況や文化背景も異なるそれら諸外国に適用できるものではないが、社会的ニーズを的確に把握し、政策化する基礎情報を与える疫学統計的手法は万国に共通するものである。従って、それら諸国の近未来の公衆衛生上最大の課題となる高齢化対策・生活習慣病予防について、疫学・統計情報に基づくアクションプラン策定を経験した人材を養成することは、研修参加対象国にとって貴重な貢献になると思われる。
応募希望者への特記事項	これまでに、ブラジル、ボリビア、キューバ、メキシコなど様々な国から研修を受け入れています。